

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成30年度)

2. 分野別状況(1)国際戦略総合特区(3/7)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区 (愛知県、岐阜県、三重県、長野県、静岡県、名古屋市等)	4.6	4.3 進捗度 ・中部地域における航空機・部品の生産高 103% ・中部地域における航空宇宙関連輸送額 65% ・中部地域における航空宇宙関連の工場等の新增設件数 179% 等	4.7 規制の特例等 ・工場等新增設促進事業 等 財政支援等 ・総合特区設備等投資促進税制 ・総合特区支援助利子補給金 等 地域独自の取組 ・21世紀高度先端産業立地補助金 等	4.7	<p>・「規制の特例措置」、「財政・税制・金融支援の活用」を生かし成果が出ている。また、工業立地の誘導についての積極的な取組が成果につながっていることも評価できる。</p> <p>・効果の現出は一頃に比べると落ち着いた観があるものの、やはり本総合特区制度における優良事例としての地位は変わらない印象を受ける。</p> <p>・今後は三菱スペースジェット(MRJ)の本格生産開始に向けての正念場といえ、今後1~2年の成果を注視したいと思う。</p>